2024 年 4 月 22 日

大会実行委員会

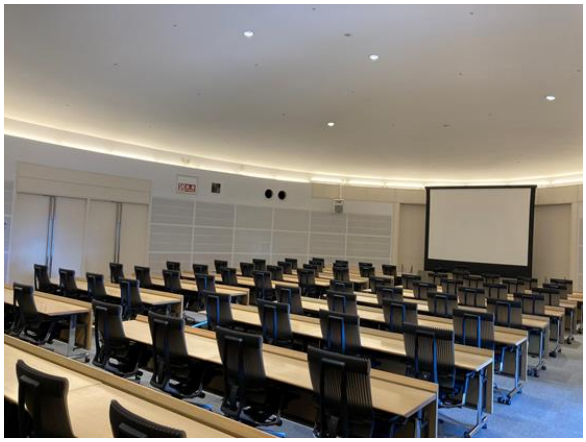
2024 年日本建築仕上学会　大会学術講演会(第 35 回研究論文発表会)
― 創立 35 周年記念大会(岐阜) ―

日　時　：　**2024年10月17日(木)～18日(金)（2 日間）**

会　場　：**長良川国際会議場　国際会議室(5 階)**　＜https://www.g-ncc.jp/＞

岐阜県岐阜市長良福光 2695-2 （TEL：058-296-1200）

会場外観



5 階　国際会議室（80 名）

4 階　テクノスクエア（技術展示）会場

3　階第二会議室

① 国際会議場(80 名)の他に　3 階　第二会議室（42 名）も仮予約済み

→　発表申込数が 60 編を越え、100 編程度まで対応可能

② 「テクノスクエア（技術展示）」を開催　（10 団体・パネル展示のみ　作品賞の展示も可能）

③ 「学生発表優秀賞　選考」 計画中（学生発表の申込数による・6 月初旬決定）

④ 会場周辺は、飲食店の数が少ない。当日の弁当の注文を予定している。

研究発表申込み　提出締切　　：**2024 年 6 月 3 日(月)17 時**

発表論文・ﾃﾞｰﾀｼｰﾄ　提出締切　：**2024 年 7 月 1 日(月)17 時**

研究発表申込書、発表論文データシート、研究発表論文応募規定および研究発表論文執筆規程は、本会ホームページよりダウンロードする。（本会ホームページ：http://www.finex.jp/　）

発表登録費･大会参加費：

種別	発表登録費	大会参加費
正会員	3,000 円/1 題	3,000 円
準会員	2,000 円/1 題	無料
会員外		8,000 円（論文集込み）

※正会員･準会員には研究発表大会論文集は無料配布

大会スケジュール(案)

10 月 17 日(木)		10 月 18 日(金)	
	＜準　備＞		
10:00	開会･講演会(1 日目)開始	9:30	講演会(2 日目)開始
12:00		12:00	
13:00	＜昼休み＞	13:00	＜昼休み＞
17:00	講演会(1 日目)終了	16:30	講演会(2 日目)終了･閉会
18:00	35 周年記念懇親会パーティ		＜片付け＞
	(長良川温泉　十八楼)		

周辺図（長良川国際会議場と十八楼の位置関係）

□創立35周年記念パーティ

開催日時 ： 2024年10月17日(木) 18:00～20:00 （受付17:30 から）
開催会場 :長良川温泉 十八楼
予定人数 :100 名
形　式 :ビュッフェ方式 ・ 立食
会　費 :12,000 円

ホテル外観

宴会場内観(参考)

① 長良川国際会議場からのアクセス(徒歩・バス)の方法を検討中。
② 懇親会終了後、20:15 発 JR 岐阜駅前行きのマイクロバス(28 名乗り)予約済み。 →案内方法検討
③ 従来、周年懇親会で催していた作品賞等のパネル展示は実施しない。

３．地方大会でみえてくるニッポンの建築仕上げの景色　~中部大会・岐阜県を中心に~

本記念大会は、はじめての地方開催の大会となります。東京で開催する大会と比べ、会場までの移動手段に始まり、街の雰囲気、そして歴史のある建物を含む建築仕上げの様子など、静かな時間の流れとともにじっくりと体感できる醍醐味がそこにはあります。下記にその一部となる歴史的な建造物とその建築仕上げに関わる情報をご紹介します。変わりゆくもの、変わらないものの姿を、是非、岐阜現地でご堪能いただきたいと思います。

表１　　中部地方・岐阜県を中心とした建築仕上げの景色

No.	地名/検索ワード（文化財等）		内容
①	白川村	白川郷（世界遺産） 白川村荻町（伝建） 和田家住宅（国重）	伝建地区内に合掌造りの家屋が立ち並び、水田や畑などの自然環境とともに農村景観が広がる。五箇山とともに、ユネスコ世界遺産に登録、世界遺産地区内で最大級クラスの合掌造りもある。
②	高山市	高山市三町（伝建） 安国寺経蔵（国宝） 高山陣屋（国史跡）	江戸時代、幕府直轄領として高山陣屋で幕府が執務を取り行った。古くからの城下町で商人町として発展。16 世紀後半から続く高山祭は、日本三大美祭といわれ、車田の伝統的な田植えも美しい。
③	美濃市	美濃市美濃町（伝建） 美濃橋（国重） 小坂家住宅（国重）	美濃和紙は 1300 年以上の歴史を誇り、越前・土佐和紙とならぶ「日本三大和紙」で、2014 年ユネスコ無形文化遺産に登録。伝建地区のうだつのあがる歴史的町並、日本最古の近代つり橋などがある。
④	恵那市	岩村町本通り（伝建） 岩村城址	大正の街並みが残る岩村藩の城下町で、NHK 連ドラ「半分, 青い。」の舞台。岩村城址は「日本３大山城」とされ、鎌倉～明治の 700 年に及ぶ城の歴史が偲ばれる。「農村景観日本一」の称号もある。
⑤	郡上市	郡上八幡北町（伝建）	山川に囲まれた城下町で、近世から続く町家建築が残る「奥美濃の小京都」と称される。夏の郡上踊りは民俗芸能「風流踊」の構成要素として，2022 年ユネスコ無形文化遺産に登録。
⑥	各務原市	旧川上家別邸（国重）	日本初の女優、川上貞奴の全 26 部屋が連なる大規模別邸。木曽川に面した広大な庭に、日本中の建材と名匠による技術で、和洋の優美な装飾による数奇屋・書院・寝殿造の様相が伺える。福澤桃介の木曽川の水力発電事業を支えた。
⑦	中 津 川市	馬籠宿 妻籠宿/長野（伝建） 桃介橋/長野（国重）	馬籠宿は中山道 43 番目、木曽 11 宿の一番南の宿場。石畳の敷かれた坂に沿う宿場で、近代作家の島崎藤村の故郷で,「夜明け前」の舞台。妻籠宿は 1976 年に日本初の重伝建地区に指定。近郊には読書発電所施設一部の桃介橋がある。
⑧	犬山市（愛知） 可児市	犬山城（国宝） 八百津発電所（国重） 博物館明治村 リトルワールド	犬山城は、1537 年に織田信康が築城し、天守は現存する日本最古のもので，天守が国宝である 5 城の一つ。明治村は日本・海外の明治建築物を、リトルワールドは世界の民族建築物を移築・展示する広大な敷地の屋外博物館で，歴史資料と文化性向上に貢献。

備考）国重：国指定重要文化財　伝建：国指定重要伝統的建造物群保存地区　国史跡：国指定史跡

表２　岐阜市（開催地周辺）の建築仕上げの景色

No.	検索ワード	内容
⑨	岐阜城城郭 （国史勝、日遺）	16 世紀より美濃国守護の土岐氏、斎藤道三が築いたまちづくりが礎で、織田信長、明智光秀、豊臣秀吉にも多大な影響を与える。岐阜城天守は後の信長の居城となり、金華山一帯は国史跡・名勝に指定され、日本遺産の第一号となる。
⑩	川原町屋界隈 戦国城下町跡 （国重景，日遺）	斎藤道三公の時代より、長良川水運を活かし、材木、紙屋、竹、和紙を用いたものづくり文化を築く町屋が誕生し、後の織田信長公は、岐阜と名付けたこの地を「楽市楽座」で城下町に発展させた。格子戸の美しい町屋が残る
⑪	長良川の鵜飼 （国重景、日遺）	1300 年の歴史がある伝統漁法で、信長公は鵜匠を保護、鵜飼を接待の場として用い、家康、チャップリン、松尾芭蕉などもこの伝統美を感じている。長良川鮎は世界農業遺産に認定されており、宮内庁に属する鵜匠も貢献する。
⑫	岐阜大仏 （県指定重文）	江戸時代の 1683 年に建立した正法寺の大釈迦如来像であり、骨格は木材で組み、外部は良質の竹と粘土で仕上げられた漆塗り金箔仕上げの日本最大の漆箔大仏で高さ 13.6ｍある。大仏と一体となった建物も建築的に価値が高い。
⑬	長良川国際会議場	1995 年竣工、SRC 造地下１階・地上５階の安藤忠雄の建築。市民ギャラリーの SRC 造架構は構造的特徴を活かした造形であり、国際会議場からの長良川・金華山の一望景観は必見である。2024 年 12 月より大改修を予定。

備考）国史勝：国指定史跡名勝天然記念物　国重景：国指定重要文化的景観　日遺：日本遺産

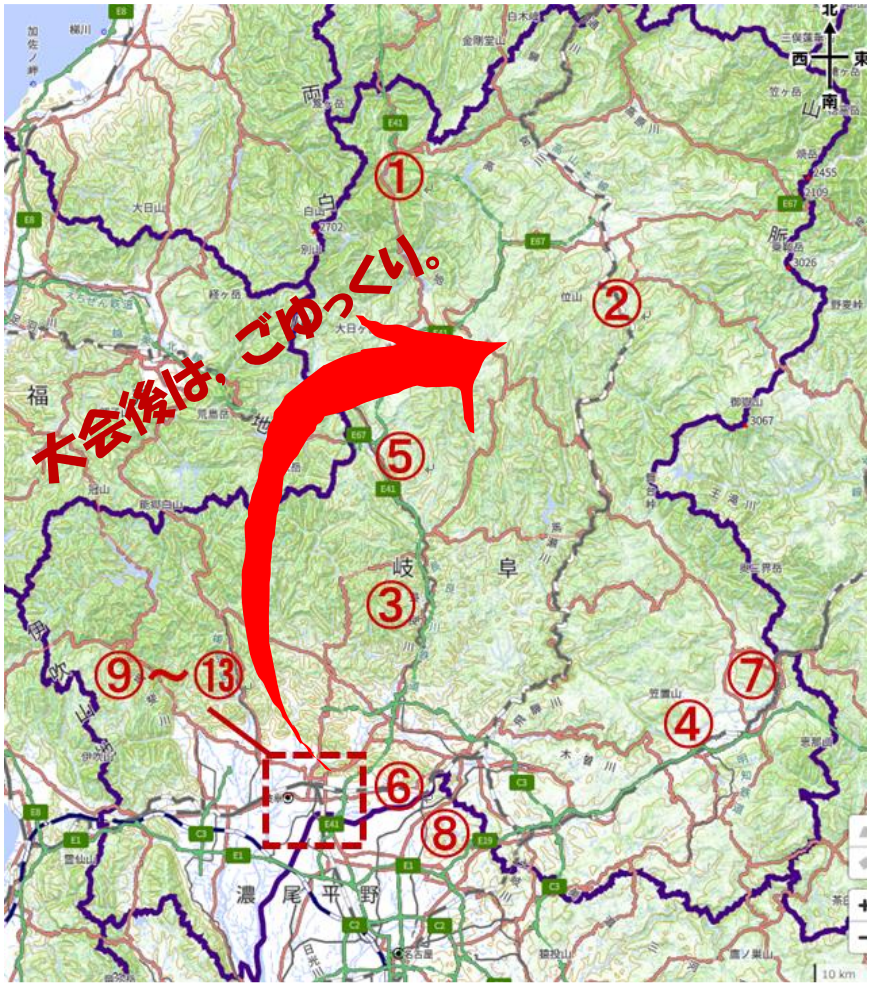


図１　中部地方・岐阜県を中心とした地域図

図２　文化庁・国指定文化財等データベース
https://kunishitei.bunka.go.jp/bsys/index

図３　岐阜市（開催地⑬周辺）の詳細図（会場部屋からみた信長公・岐阜城および長良川のせせらぎ）
注）図 1-2 は国土地理院地理院地図 Vector を元に作成